環境設計論 (Theory of Environmenntal Design)

専攻	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担　当
機械制御	選択	2 年前	2	講義	伊藤　尚

【授業の概要】
２１世紀に生きる技術者は地球環境問題に関する視点を抜きに仕事はできなくなってきている。また同時に日本の技術者には、自発性、創造性が特に求められている。自ら問題点を見つけ、解決策を考える能動性が不可欠であるが、日本のこれまでの教育では、知識習得に終わることが多かった。環境設計論では、自らが問題を把握する形式で行う。テーマとしては各自の専門に関わる産業が関連するものを選択する。

【学修の進め方】
初めに環境問題の概要と産業界における環境問題に対する取組みの概要を講義する。その後各自のテーマ設定に当たっては、事前調査を行い、掲示板を通して担当者と意見交換をしながら、テーマ決定をしていく。またテーマに関する資料調査、検討を加えて受講者の前で発表し、討議を行い、内容を深める。これらの発表と討議の後、各自のテーマに関する方向性について講義したあと、再度資料調査、検討を行って、２回目の発表、討議を行う。まとめの講義のあと、各自の内容をホームページに作成する。授業内容を理解するために予習復習が必須である。

【授業の概要】

およそ以下の進行となる
- 環境問題の概要と産業界における環境問題に対する取組みの概要に関する講義
- 各自の事前調査とテーマに関する掲示板を通しての担当者との意見交換
- テーマに沿った資料調査と検討
- 第１回目の発表、討議
- 各自のテーマに関する方向性についての講義
- 発表、討議を踏まえた資料調査、検討
- 第２回目の発表、討議
- まとめの講義
- ２回の発表、討議を踏まえた web ページ作成

【到達目標】	自身の専門に関わる産業における環境問題について、その概要を把握し、さらに問題点、課題を見つけ出すと同時に、その解決策を考え提示することを目標とする。環境問題全体の動向や法律の動きなども踏まえた、具体的で実行可能な解決策を考える必要がある。		
【徳山高専学習・教育目標】	C1	【ＪＡＢＥＥ基準】	1(2)d-1
【評価法】	(1) テーマを選ぶ際の理解度・発想力、(2) 課題の見つけ方と課題に関する解決策の内容、(3) 資料調査の方法と内容、(4) 討議に対する参加度合い・理解度、(5) 作成される web ページのまとめ方・内容などを総合的に勘案して評価する。配点割合は各項目で 20%ずつとする。		
【テキスト】	自ら資料探索を行う。		
【関連科目】	環境リサイクル論（本科・機械電気５年）、環境衛生工学（本科・土木建築５年）		
【成績欄】	前期中間試験【　　】 前期末試験【　　】 前期成績【　　】 後期中間試験【　　】 後期末試験【　　】 学年末成績【　　】		